

科目名	日米関係論（遠隔授業）	単位数	2単位	学期	前期
担当教員	中村 起一郎		実務経験の有無		×
科目区分	カリキュラムマップを表示する	関連するディプロマポリシー			
ナンバリング	X-21-B-3-330016	国際学部A：グローバルな課題に批判的な問題意識をもち、国境を超えた個別具体の問題への認識を深める国際教養および研究手法を体得していること			
授業の目的	<p>(全回オンライン授業を行う)</p> <p>20世紀において長く「超大国」として君臨したアメリカは、かつてのような圧倒的な影響力は失われつつあるものの、依然として強大な軍事力と経済力を有し、独特の外交理念をふりかざす大国であることに変わりはない。世界の主要国は、アメリカどのように付きあうかにいつも頭を悩ませてきた。もちろん日本もその国の一つだ。時に積極的に、時に苦渋の思いでいくつもの選択を重ねた結果として、現在の日米関係が作られている。</p> <p>この講義では、現在の日本外交の基軸となっている日米の同盟関係がどのように形成され、機能してきたか、主に政府レベルの政策決定過程に焦点を当てながら分析する。高校時代の日本史、世界史、大学で学んだ日本政治や国際政治などの知識を利用しながら、日米関係が日本と世界にとってどのような意味を持っているのかを考えたい。</p>				
学修到達目標	日本と北東アジアの安定と発展のために、日米同盟はどのように役立っている／いないのか、多面的に考えられるようになる。				
実務経験との関連性					

授業計画	
第1回	イントロダクション バイデン政権誕生の意味-トランプ政権とはなんだったのか
第2回	アメリカのパワーとは何か
第3回	敗戦・占領・独立

第4回	冷戦と日米安保（1）安保条約と改定
第5回	冷戦と日米安保（2）沖縄返還
第6回	冷戦と日米安保（3）「大国」日本の役割分担
第7回	冷戦の終結と湾岸戦争とインパクト
第8回	9・11後の米国外交-日米安保のグローバル化？
第9回	トランプ外交の特殊性と普遍性
第10回	東アジア地域秩序と日米同盟（1）北朝鮮非核化をめぐる
第11回	東アジア地域秩序と日米同盟（2）米中対立の構図
第12回	日本外交の内在的課題（1）憲法と安全保障
第13回	日本外交の内在的課題（2）沖縄基地問題

第14回	日本外交の内在的課題（3） 歴史の政治化
第15回	まとめ
第16回	期末レポート提出

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	2時間：配布資料や参考文献を予習
【復習】時間・内容	2時間：配布資料や参考文献を読んで事業の疑問点を解消する。

成績評価	
評価基準・方法	オンラインでの授業となるので、学期末のレポートで評価を行う（原則として100%）。 加点要素として、授業内レポート（コメント）や授業への参加などを評価する。 授業内レポート（コメント）の一部は、授業時にクラス全体で共有する。
フィードバック方法	レポートについて、全体的な講評を行う。

アクティブラーニング	
実施の有無	×
実施内容	
教科書/参考書	教科書は特に指定しない。参考文献は講義中に適宜紹介するが、日本外交の流れを追うのに有用な概説書として、次のものを挙げておく。 五百旗頭真・編『第3版補訂版 戦後日本外交史』有斐閣、2014年 井上寿一『新版 日本外交史講義』岩波書店、2014年 五百旗頭真・編『日米関係史』有斐閣、2008年 細谷千博『日本外交の軌跡』NHKブックス、1993年
受講上の留意点等	日本政治や国際政治に関する講義を受講済または受講中であることが望ましい。私語は厳禁。質問は授業中でも授業の前後でも歓迎します。
JABEE	